

第8回世界盆栽大会inさいたま 大会概要について

The 8th World Bonsai Convention, SAITAMA CITY



「第8回世界盆栽大会」の開催に向けた報告事項

「第8回世界盆栽大会inさいたま」の進捗状況

●説明の流れ

1. 第8回世界盆栽大会開催概要
2. 大会推進体制
3. 実行委員会と市の役割
- 4-1. 大会進捗状況(企画・運営、ボランティア募集・運営)
- 2. 大会進捗状況(大会登録・入場券販売、広報)
5. 大会収支計画
6. 今後のスケジュール
7. 大会登録者用プログラム
8. 一般向けプログラム
9. 市の取り組み(主なもの)
10. 行催事スケジュール(参考資料)
11. シャトルバス運行計画(参考資料)
12. 実行委員会・市の実施事業(参考資料)

1. 第8回世界盆栽大会開催概要

開催趣旨 盆栽を通じて世界の盆栽愛好家が集い、親善を深めるとともに、盆栽文化の普及と技術向上、国際間の親善・交流を目的として開催する。

テーマ 盆栽、～次の100年へ～ 「Bonsai, ～Towards the Next 100 Years～」

キービジュアル・ロゴ



主催 第8回世界盆栽大会 in さいたま実行委員会
事務局：(一社)日本盆栽協会

共催 さいたま市

会期 2017年4月27日(木)～30日(日) [4日間]

メイン会場 さいたまスーパーアリーナ、大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮

サブ会場 武蔵一宮氷川神社、さいたま市大宮盆栽美術館、大宮盆栽村

登録者数 世界盆栽大会登録者836人(国内230人、海外606人) ※1月23日現在
目標1,200人(国内400人、海外800人)

入場者数 さいたまスーパーアリーナ一般入場者 20,000人

2. 大会推進体制

第8回世界盆栽大会 in さいたま

主催 実行委員会
事務局 (一社)日本盆栽協会
■市補助事業

連携

補助金交付
資金計画監督
適正化の確保

共催 さいたま市
■市実施事業

「連携」することで
目的を実現

<大会の目的>

①国際会議観光都市として、都市イメージの向上

世界からの来場者に対し、地域ぐるみの「おもてなしの心」で対応し、「国際会議観光都市さいたま」にまた来たいと思われるような大会とする。

②魅力ある文化芸術資源である盆栽文化振興

盆栽に関する知識や技術の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するとともに、市民一人ひとりが地域のもつ「盆栽文化」を誇りに思える大会とする。

③魅力ある地域資源である伝統産業・観光振興による地域活性化

大会を通じてさいたま市の多彩な地域資源・伝統産業、ビックイベントなどを世界に向けて発信する。

④OMIYA BONSAIブランドを確立・発信する大会

大宮盆栽を最上級ブランドとして発信するとともに、国内外の市場拡大に向けたプロモーションを推進する。

3. 実行委員会と市の役割

実行委員会

企画・運営

大会計画、実行委員会運営、盆栽協会等の調整
各会場計画、大会催事、盆栽出展、売店、会場運
営、警備、シャトルバスの運行、協賛等

大会ボランティア募集・運営

配置計画の作成、募集計画、一般・募集、説明会
の開催、当日の運営等

大会登録・入場券販売

大会登録促進のため国内外の愛好家へ案内、盆
栽業界、日本盆栽協会内への協力体制構築、関係
団体への入場券販売促進

広報：大会の認知度向上、来場促進に向けたプロモーション

農林水産省：検疫済み盆栽の販売、輸出検査の実施等
文部科学省：盆栽文化振興を図る事業への支援等

さいたま市

機運醸成

- 盆栽作製体験型講座
- 小学校の盆栽体験授業

ホスピタリティ・受入環境整備

- 大会記念プレート
- 土呂駅及び大宮公園駅から大宮盆栽美術館まで
の導線整備

市内経済活性化・にぎわい創出

- 盆栽四季の家・四季の家駐車場での休憩スペー
スの設置
- 市内回遊イベントの実施

4-1. 大会進捗状況(企画・運営、ボランティア募集・運営)

企画・運営

現状

- ・盆栽出展者・売店出店者は全席決定
- ・大会催事
催事内容については、ほぼ決定
- ・シャトルバスの運行
運行計画、乗降場所について計画済

課題

- ・円滑で安全な運営や、皇室関係者の対応について検討が必要
＜市の対応＞
行催事の運営や警備員・ボランティアの配置などについて確認
- ・大会登録者を対象としているため、「日本の盆栽水石至宝展」入場者の利用についても検討
＜市の対応＞
停留所の誘導・案内の確認、入場者の移動方法の確認

大会ボランティア募集・運営

現状

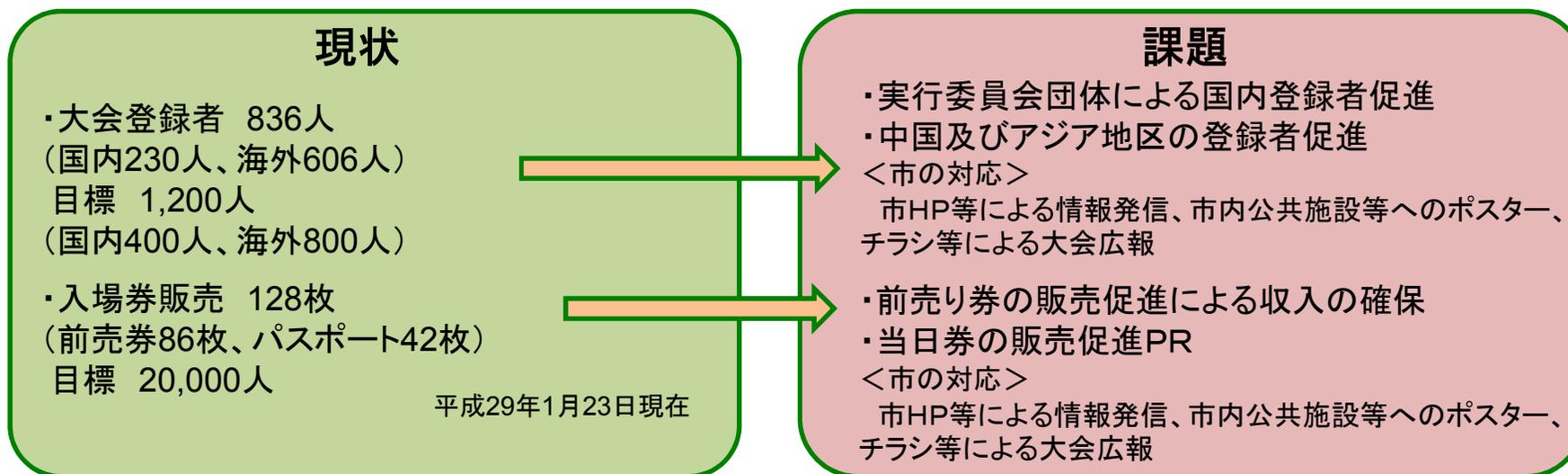
- ・11月10日よりボランティア募集
- ・1月23日現在、延べ約190人
- ・3月12日～17日に説明会実施

課題

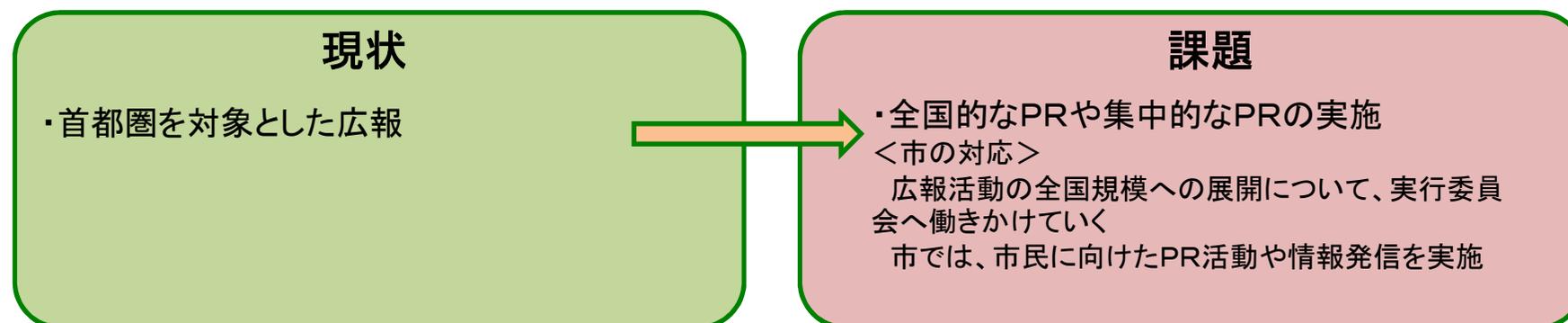
- ・円滑に運営するためのボランティアの確保(延べ240人以上)
＜市の対応＞
国際交流センターへの通訳ボランティアの協力依頼

4-2. 大会進捗状況(大会登録・入場券販売、広報)

大会登録・入場券販売



広報



5. 大会収支計画

■収入計画

項目	内容	当初予算(円) 2016年3月	見込金額(円) 2017年1月
大会収入	登録料、協賛金	40,550,000	49,207,000
展示収入	盆栽展示、出店料、入場料	48,450,000	56,226,000
盆栽協会自己負担金		10,000,000	10,000,000
補助金		110,000,000	110,000,000
合計		209,000,000	225,433,000

■支出計画

項目	内容	当初予算(円) 2016年3月	見込金額(円) 2017年1月
会場利用費	さいたまスーパーアリーナ、大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮使用料	26,902,060	26,902,060
行催事関係費	開会式・記念デモンストレーション、歓迎レセプション、友好のタペ、展示会場の装飾・演出・運営にかかる費用、サブ会場のスタッフ人件費、警備関係費、サイン関係費など	107,594,206	114,226,758
大会運営関係費	実行委員会運営費、当日運営費、登録インフォメーション関係費、シャトルバス関係費、全体運営管理費、入場券販売関係費、事務局関係費など	48,963,894	53,453,291
広報・宣伝関係費	メディア誘致活動費、広報事務局関係費、ビジュアルプロモーション費、イベント制作費、記者会見費、現場対応費、WEB制作費、SNSプロモーション関係費、広告費、その他	25,539,840	27,201,491
宮内庁対応関係費	マニュアル制作、スタッフ・警備人件費、控室費用等	0	3,649,400
合計		209,000,000	225,433,000

ポイント:登録料・入場料・協賛金などの収入の増加に努め、支出の削減に努める。

6. 今後のスケジュール

■実行委員会の事業

	項目	2月	3月	4月	大会	5月(大盆栽まつり)
企画・運営	実行委員会の開催	▶				
広報	大宮駅コンコースカウントダウンボード(10/1~) 1カ月前イベント 東京スカイツリー 海外盆栽メディア情報配信 JAL機内(国内/国際)誌掲載 東武鉄道中吊り広告 JR駅貼り広告(首都圏観光ポスター)		▶	▶		
ボランティア 募集・運営	ボランティア募集(11/10~) 説明会の実施	▶	▶			
大会登録・チ ケット販売	実行委員会団体からの国内愛好家へアプローチ 海外の主な盆栽団体への案内再発送	▶	▶	▶		

■さいたま市の事業

	項目	2月	3月	4月	大会	5月(大盆栽まつり)
広報	大宮駅東口カウントダウンボード(1/17~) 北区横断幕(1/27~) 北区アルディージャバナー(~5月初旬) 市内銀行・JACK大宮・大宮公園駅等の盆栽展示、ポ スター掲出等	▶	▶	▶		
ホスピタリ ティ・受入 環境整備	土呂駅東口植栽整備 道路整備、土呂駅東ロトイレ新設、 大宮盆栽美術館庭園改修 国際ジュニア大使による国際交流	▶	▶		▶	
経済活性 化・にぎわ い創出	盆栽四季の家・駐車場休憩スペース 新都心駅前おもてなしディスプレイ 市内回遊イベント				▶	▶

7. 大会登録者用プログラム

4月27日(木) 出席予定者 登録者、関係者、招待者

開会式 15:00~16:00 **大宮ソニックシティ 大ホール**

植竹小学校6年生70名が演出、和太鼓(さいたま和太鼓振興会)

木村正彦氏による記念デモンストレーション 16:00~18:00

歓迎演奏: 浦和木遣保存会による「木遣歌」

歓迎レセプション 19:00~21:00 **パレスホテル大宮**

「秋葉ささら獅子舞」の演舞等

4月28日(金)~30日(日)

デモンストレーション **さいたまスーパーアリーナ(TOIRO、展示ホール)**

日本を代表する盆栽指導者や海外でも活躍する盆栽師13名のデモンストレーション

日本文化体験

着物の歴史と着付け体験、手書き友禅染体験「ポーチ作り」(ハクビ)

木目込みで作る御殿毬のストラップ(岩槻人形協同組合)

風呂敷つつみ体験(さいたま観光国際協会)

絵巻物作り体験(埼玉県立歴史と民族の博物館)

4月29日(土) 18:00~20:00 **友好の夕べ** 出席者:登録者、関係者等600名程度 **パレスホテル大宮**

大道芸(紙切りショー、干支飴細工実演、盆栽、水石、道具、書籍のオークション等)

8. 一般向けプログラム

日本の盆栽水石至宝展 日本の盆栽・水石の粋を一堂に集めた、世界最高峰の展示会
4月28日(金)～30日(日) **さいたまスーパーアリーナ(コミュニティアリーナ)**



オープニングセレモニー 4月28日 9:00～10:00 大宮南小学校吹奏楽部によるオープニング演奏

皇居の盆栽特別展示 盆栽2点、盆器3点を展示予定

企画展示 盆栽の文化と歴史を映像等で紹介、日本を代表する貴重盆栽や大宮盆栽の名品、盆栽の歴史展示など

子ども・市民盆栽の展示 盆栽体験授業で作製した市内小学校11校、約1,000人の盆栽展示
公民館の講座で作製した盆栽展示



ステージイベント 盆栽師のデモンストレーションや「趣味の園芸」、「トークショー」など

グランドフィナーレ 4月30日 18:00～19:00 次期開催地の紹介等

武蔵一宮氷川神社 武蔵一宮氷川神社内の境内(舞殿・回廊)で特別盆栽展を実施

大宮盆栽美術館 記念特別展を開催し美術館所蔵の五葉松「日暮し」を中心に盆栽作家や愛好家秘蔵の名品盆栽を展示※記念特別展:3月17日(金)～5月10日(水)

大宮盆栽村 各盆栽園で大会を記念した鉢や風呂敷等を販売予定

9. 市の取り組み(主なもの)

■大会機運醸成

作製した盆栽をさいたまスーパーアリーナに展示し、市内の盆栽文化を広くアピールする。

●盆栽作製体験型講座

公民館において、昨年度より盆栽の作製体験講座を開催。

平成27年度 11公民館で115人(組)が参加

平成28年度 9公民館で 78人(組)が参加



●小学生の盆栽体験授業

市内小学校において、盆栽体験授業を10月から実施し、11校、約1,000人の小学生が盆栽づくりを体験。

〈実施校〉辻南小、城南小、海老沼小、植竹小、常盤北小、上里小、馬宮東小、大久保小、植水小、馬宮西小、大宮南小

■市内経済活性化・にぎわい創出

・盆栽四季の家・四季の家駐車場での休憩スペースの設置

大宮盆栽村に訪れた観光客に、おもてなしの心を表現した休憩スペースを設置。

・さいたま新都心駅前おもてなしディスプレイ

さいたま新都心駅前に植栽による歓迎ムードを演出。

・市内回遊イベントの実施

盆栽にちなんだ宝探しイベントを実施し、市内の回遊及び滞留時間の延長促進。

■大会後へ向けた取り組み

・大宮盆栽村(大盆栽まつり)への誘客

大会期間中のおもてなし等により、盆栽愛好家や外国人観光客を大会終了後に開催される大盆栽まつりへの誘客に繋げる。

・さいたま市PRブースでの観光PR

さいたまスーパーアリーナ内にさいたま市PRブースを設け、大会来場者の再訪を促進。